

添付資料

目 次

添付資料－1 高浜発電所 第3号機 保全計画（第24保全サイクル）

添付資料－1 高浜発電所 第3号機 保全計画（第24保全サイクル）

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等について、「高浜発電所 第3号機 保全計画（第24保全サイクル）」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

高浜発電所 第3号機
保全計画
(第24保全サイクル)

施設管理の実施に関する計画

目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。） 及び期間	1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期	1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期	2
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための 措置	2
5. 特別な施設管理実施計画	2
6. 施設管理に関する実施体制	3

別紙－1：点検計画（第24保全サイクル）

別紙－2：特別な施設管理実施計画

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

参考資料－1：長期保守管理方針実施状況総括表

参考資料－2：施設管理に関する実施体制

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第24回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間（第24回定期事業者検査終了以降13ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第24保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※：この間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事等の方法及び時期

（1）工事の計画

a. 蒸気発生器伝熱管補修工事：設計及び工事の計画の届出

○ 工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた場合に、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○ 予定期間

第24回定期事業者検査期間中

b. 特定重大事故等対処施設設置工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

平成24年6月の核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正並びに関連規則等の改正を踏まえ、原子炉補助建屋等への故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる重大事故等に対処するために必要な施設の整備を行う。

○ 予定期間

第24回定期事業者検査期間中

c. 高エネルギーアーク損傷対策工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

高エネルギーアーク損傷に係る実用発電用原子炉及びその附属設備の技術基準に関する規則等の一部改正に伴い、保護リレー整定値の変更等を行う。

○ 予定期間

第24回定期事業者検査期間中

d. 格納容器サンプ水位伝送器取替工事：設計及び工事の計画の届出

○ 工事概要

製造中止に伴い、格納容器サンプ水位伝送器（2台）を浮力式（フロート式）から差圧式に取り替える。

○ 予定期間

第24回定期事業者検査期間中

3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保修業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特にない。

5. 特別な施設管理実施計画

第24回定期事業者検査において、1年以上プラントの運転を停止するにあたり、以下のとおり特別な施設管理実施計画を策定した。

a. 特別な施設管理実施計画

- ・プラント停止中の系統・機器については、通常の停止状態又は待機状態で保管対策を行い、必要に応じてパラメータ監視、巡視等を行う。主要設備の保管対策を別紙-2に示す。
- ・点検計画を考慮の上、保管状態、停止期間に応じた追加保全の検討を行い、必要な追加保全を実施する。具体的には、以下の評価方針に基づき検討する。
 - ① プラント停止中の方がプラント運転中と比較して運転条件、使用環境が厳しい構築物、系統及び機器を抽出し、運転条件、使用環境に応じて必要となる保全内容を追加保全として検討する。

- ② ①以外の構築物、系統及び機器については、第24保全サイクルの前に実施した保全の有効性評価結果を反映した最新の保全計画に基づき、運転中または保管状態での劣化要因の有無を評価し、必要な保全内容を追加保全として検討する。
- ・保管状態、停止期間に応じた再起動による追加的な健全性確認の検討を行い、必要な健全性確認を実施する。
- b. 特別な施設管理実施計画に係る実施体制
- 特別な施設管理実施計画に係る実施体制は、通常の保全と同様「6. 施設管理に関する実施体制」による。
- c. 特別な施設管理実施計画の結果の記録管理
- 特別な施設管理実施計画の結果及び結果の確認・評価を記録し、当該記録の保存期間は、発電用原子炉施設を解体または廃棄した後5年が経過するまでの期間とする。

6. 施設管理に関する実施体制

第24保全サイクルにおける施設管理については、高浜発電所原子炉施設保安規定第4条(保安に関する組織)、第5条(保安に関する職務)に基づく事業者管理体制により実施する。

また、第24保全サイクルの施設管理の実施にあたり、協力会社に役務を調達する場合には、当該点検及び工事に関する作業経験等の技術的要件(力量)も考慮の上、第120条(施設管理計画)に基づき調達要求等を定める「原子力部門における調達管理通達(平成27調原通達 第1号)」の規定に従い調達する。

なお、第24保全サイクルにおいて、協力会社に役務を調達する予定の主要な点検工事等を以下に示す。

- ・原子炉容器他主要設備定期点検工事
- ・発電機他主要電気設備定期点検工事
- ・蒸気発生器細管検査他付帯工事
- ・タービン主機他一般設備定期点検工事
- ・1次系大型モータ他定期点検工事
- ・特定重大事故等対処施設設置工事
- ・保護リレー整定値修繕工事
- ・格納容器サンプ水位計伝送器修繕工事

別紙-1

点 檢 計 画
(第24保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a.定期事業者検査の対象となる設備

b.実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a)防護具、現地操作時に用いる工具類

(b)一般消耗品（電池類他）

(c)一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a.安全機能の重要度が高い設備

b.供給信頼性重要度が高い設備

c.リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「高浜発電所 保修業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

〔潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、フローグラス 等〕

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達(平成18原品証通達第2号)」等の考え方従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全(時間基準保全、状態基準保全)を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間(総合負荷性能検査～解列)に対応した値を示している。
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
 - ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2と表記している。なお、回転機器(ポンプ、ファン等)等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
 - ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
 - ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。
- ※2：「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“施設定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第24保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」^{※3}を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）^{※4}も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/46
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/46
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/46
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内的一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	15/46
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	20/46
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	24/46
[放射線管理用計測装置]	
[生体遮蔽装置]	
[換気設備]	
[その他設備]	
原子炉格納施設	31/46
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	36/46
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子力設備・タービン設備	36/46
[その他設備]	
蒸気タービン	37/46
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
補助ボイラー	42/46
その他発電用原子炉の附属施設	43/46
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
非常用電源設備	44/46
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	46/46
敷地内土木構造物	46/46
プラント総合	46/46
非常用取水設備	46/46
[取水設備]	
補機駆動用燃料設備	46/46
[燃料貯蔵設備]	

別表-1 : クラス1機器供用期間中検査7年計画
 別表-2 : クラス2機器供用期間中検査10年計画
 別表-3 : クラス3機器供用期間中検査10年計画
 別表-4 : クラス1機器N_i基合金使用部位特別検査7年計画
 別表-5 : クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画
 別表-6 : 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画
 別表-7 : 重大事故クラス2機器供用期間中検査10年計画
 別表-8 : 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備設計)
		外観点検	外観点検					
原子炉本体 〔炉心〕	照射済燃料集合体 照射済燃料集合体 (取出燃料) 燃料集合体 内擣物 (1) 制御棒クラスター (2) バーナブルボイズン (3) ブラギングデバイス (4) 2 次中性子源	※ 1式 ※ 1式 157本 ※ 1式	1. 外観点検 1. 外観点検 1. 外観点検 (炉内配置) 1. 外観点検 (炉内配置)	高 高 高 高	1F 1F 1F 1F	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	燃料集合体外観検査 ※ : 炉心設計による ※ : 炉心設計による ※ : 炉心設計による ※ : 炉心設計による
原子炉本体のうち炉心								定期事業者検査記動後
原子炉容器 〔原子炉容器〕	原子炉容器 制御棒クラスター索内管支持ビン	104本 1式	1. 開放点検 1. 外観点検 1. 機能・性能試験 (リフ ティングフレーム) 1. 機能・性能試験	高 高 高 高	1M 3F 1F 1F	○ ○ ○ ○	23回 21回 23回 23回	炉物理検査 構造健全性検査 燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施 設 〔燃料取扱設備〕	燃料移送装置		2. 分解点検他		39M～195M	○	23回	
燃料取替クレーン			1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高 高	1F 1F	○ ○	23回 23回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等)
使用済燃料ピットクレーン			1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高 高	39M～195M 39M～195M	○ ○	23回 23回	燃料取扱装置機能検査 1次系換気空調設備検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等)
新燃料エレベータ			1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高 高	1F 1F	○ ○	23回 23回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等)
燃料取扱建屋クレーン			1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (年次点検)	高 高	39M～195M 12M	○ ○	22回 23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等)
燃料取扱工具	1式		1. 外観点検	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等)
ウラン・ブルトニウム混合酸化物新燃料 取扱装置	1台		1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高 ※	1F 1F	— —	22回 22回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等) 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等)
燃料仮置ラック			1. 外観点検	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック 試験等)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃 料取扱設備] その他機器	1式		1. 分解点検他	高・低	13M～91M	○	23回	一部BMあり 一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1. 特性試験	2. 特性試験					
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵設備〕	事故時監視計器 水位監視計器 温度監視計器 1次系計測制御装置	2個 2個	1. 特性試験 1. 特性試験	高 高	13M 13M	○ ○	23回 23回	プラント状態監視設備機能検査 計測制御系監視機能検査
使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置	1式		1. 機能・性能試験 1. 特性試験	高 高	13M 13M	○ ○	23回 23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使 用済燃料貯蔵設備 その他機器」	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使 用済燃料貯蔵設備 その他機器」	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機)	高 1Y 10Y 78M	13M 1Y — —	○ ○ — —	23回 23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査 プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定期検査により追加
消防ポンプ	71台		1. 機能・性能試験 1. 外観・機能点検	高 高	1Y 6M	○ ○	23回 23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査 プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定期検査により追加
大容量ポンプ(放水専用)	3台		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 1Y 10Y	1Y — —	○ ○ —	23回 23回 —	可搬型重大事故等対処設備機能検査 プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定期検査により追加
使用済燃料ビット浄化冷却設備			1. 機能・性能試験(ポン プ・電動機含む)	低	1F	○	23回	使用済燃料貯蔵槽冷却净化系機能検査
A 使用済燃料ビットポンプ・電動機			1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(潤滑油入 替)	低 CBM —	78M CBM —	— — 12回	23回 23回	先行実施 (振動診断 : 3M)
B 使用済燃料ビットポンプ・電動機			1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(潤滑油入 替)	低 CBM —	78M CBM —	○ — 13回	21回 21回 23回	先行実施 (振動診断 : 3M)
A 使用済燃料ビットフィルタ			1. 開放点検	低	130M	—	18回	先行実施
B 使用済燃料ビットフィルタ			1. 開放点検	低	130M	—	19回	先行実施
A 使用済燃料ビット冷却器			1. 開放点検(管側)	低	195M	—	18回	先行実施 保全の有効性評価結果No.1の反映
B 使用済燃料ビット冷却器			1. 開放点検(脇側) 2. 非破壊試験	— —	195M 195M	— ○	21回 18回 17回	先行実施
C 使用済燃料ビット冷却器			1. 開放点検(管側) 2. 非破壊試験	低 低	195M 195M	— ○	21回 17回	先行実施 保全の有効性評価結果No.2の反映
			1. 開放点検(ガスケット) 1. 開放点検(ガスケット取替)	低 —	130M 130M	○ —	—	先行実施 13回施設定期検査により追加

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目			保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1.機能・性能試験	2.分解点検	3.簡易点検（特性試験）					
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却却浄化設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使 用済燃料貯蔵槽冷却却浄化設備」その他の 弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	2.分解点検	高・低	B	—	23回	1次系弁検査
		1式	1.機能・性能試験	2.分解点検	高・低	B	—	23回	1次系逆止弁検査
		1式	1.機能・性能試験	2.分解点検	高・低	65M	—	23回	1次系弁検査
		1式	1.機能・性能試験	2.分解点検他	高	104M～130M	—	20回	
		1式	1.機能・性能試験	2.分解点検他	低	13M～130M	○	23回	
		1式	1.機能・性能試験	2.分解点検（ポンプ）	高	B※	—	23回	1次系ポンプ機能検査
			2.分解点検（電動機）	3.簡易点検（潤滑油入替 他）	130M	—	21回		先行実施 (振動診断：3M)
			132M	—	32M	—	23回		※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			13M	○	13M	○	23回		一部先行実施 一部BMあり
			1.機能・性能試験	2.分解点検（ポンプ）	高	B※	—	23回	1次系ポンプ機能検査
			2.分解点検（電動機）	3.簡易点検（潤滑油入替 他）	130M	—	19回		先行実施 (振動診断：3M)
			132M	—	32M	—	21回		※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			13M	○	13M	○	23回		一部先行実施 一部BMあり
			1.機能・性能試験	2.分解点検（ポンプ）	高	B※	—	21回	1次系ポンプ機能検査
			2.分解点検（電動機）	3.簡易点検（潤滑油入替 他）	130M	—	19回		先行実施 (振動診断：3M)
			132M	—	32M	—	21回		※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			13M	○	13M	○	23回		一部先行実施 一部BMあり
			1.機能・性能試験	2.分解点検	高	B	—	22回	1次系弁検査
			1.機能・性能試験	2.分解点検	高	130M	—	23回	1次系安全弁検査
			1.機能・性能試験	2.分解点検	高	B	—	23回	1次系弁検査
			1.分解点検他	1.分解点検他	高	104M～130M	○	23回	
			1.分解点検他	1.分解点検他	低	104M～130M	○	23回	
			1.非破壊試験	2.開放点検	高	13M	○	23回	蒸気発生器伝熱管体積検査
			3,272本	3.簡易点検（スラッジ シンク）	13M	○	23回		
				4.簡易点検（ガスケット 取替他）	13M	○	23回		
				1.非破壊試験	高	10Y	—	23回	
				1.非破壊試験	高	13M	○	23回	蒸気発生器伝熱管体積検査
				2.開放点検	13M	○	23回		
				3.簡易点検（スラッジ シンク）	13M	○	23回		
				4.簡易点検（ガスケット 取替他）	13M	○	23回		
				1.非破壊試験	高	13M	○	23回	
				2.開放点検	13M	○	23回		
				3.簡易点検（スラッジ シンク）	13M	○	23回		
				4.簡易点検（ガスケット 取替他）	13M	○	23回		
				1.非破壊試験	高	10Y	—	23回	
				1.非破壊試験	高	13M	○	23回	
				2.開放点検	13M	○	23回		
				3.簡易点検（スラッジ シンク）	13M	○	23回		
				4.簡易点検（ガスケット 取替他）	13M	○	23回		
				1.非破壊試験	高	10Y	—	23回	

機器又は系統名 〔一次冷却材の循環設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1. 非破壊試験	2. 開放点検					
C蒸気発生器	3,262本	伝熱管 1. 非破壊試験 2. 開放点検 3. 簡易点検 (スラッジラ ンシング) 4. 簡易点検 (ガスケット 取替他)	1M 1M 1M 1M	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
C蒸気発生器給水入口管台 加圧器安全弁	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	1箇所 1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検 4. 機能・性能試験 (駆動 部含む)	高 高 高 高	10Y IF IF IF	- ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	加工器安全弁機能検査 加工器安全弁漏えい検査 加工器安全弁分解検査 加工器逃がし弁機能検査	
加圧器逃がし弁	3-PCV-454C	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高 高 26M	IF IF ○	23回 23回 22回	加工器逃がし弁機能検査 加工器逃がし弁漏えい検査 加工器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-454C	1. 分解点検 (特性試験) 2. 簡易点検	高 高	13M 13M	○ ○	23回 23回	加工器逃がし弁漏えい検査	
加圧器逃がし弁	3-PCV-455A	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高 高 26M	IF IF ○	23回 23回 23回	加工器逃がし弁機能検査 加工器逃がし弁漏えい検査 加工器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-455A	1. 分解点検 (特性試験) 2. 簡易点検 (特性試験)	高 高	13M 13M	○ ○	23回 23回	加工器逃がし弁漏えい検査 加工器逃がし弁分解検査	
加圧器逃がし弁	3-PCV-455B	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高 高 26M	IF IF ○	23回 23回 23回	加工器逃がし弁機能検査 加工器逃がし弁漏えい検査 加工器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-455B	1. 分解点検 (特性試験) 2. 簡易点検 (特性試験)	高 高	13M 13M	○ ○	23回 23回	加工器逃がし弁漏えい検査 加工器逃がし弁分解検査	
加圧器逃がし弁元弁	3V-RC-054A	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランド バッキン取替)	高 130M 65M	IF - -	23回 21回 23回	加工器逃がし弁元弁機能検査 加工器逃がし弁漏えい検査 加工器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054A	1. 分解点検	高	156M	-	21回	加工器逃がし弁元弁機能検査	
加圧器逃がし弁元弁	3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 (駆動 部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランド バッキン取替)	高 130M 65M	IF - -	○ - -	23回 22回 22回	加工器逃がし弁元弁機能検査 加工器逃がし弁漏えい検査 加工器逃がし弁分解検査	
加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054B	1. 分解点検	高	156M	-	21回	加工器逃がし弁元弁機能検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考	
								() 内は適用する 設備診断技術)	
原子炉冷却系系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	加圧器逃がし弁元弁	3V-RC-054C	1.機能・性能試験 (駆動 部含む) 2.分解点検 3.簡易点検 (グランド バッキン取替)	高	1F 130M 65M	○ — —	23回 22回 22回	加工器逃がし弁元弁機能検査	
A 1次冷却材ポンプ・電動機	加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054C	1.分解点検 1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 2.分解点検 (メカニカル シール) 2.分解点検 (ライホ イール) 3.簡易点検 (潤滑油入 替)	高	156M 11F 130M 104M 13M 104M 26M	— ○ — — ○ — —	21回 23回 23回 23回 23回 23回 23回	加工器逃がし弁元弁機能検査	一部定期事業者検査起動後
B 1次冷却材ポンプ・電動機			1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 2.分解点検 (メカニカル シール) 2.分解点検 (ライホ イール) 3.簡易点検 (潤滑油入 替)	高	11F 130M 104M 13M 104M 26M	○ ○ — ○ — ○	23回 14回 22回 23回 22回 22回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
C 1次冷却材ポンプ・電動機			1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 2.分解点検 (メカニカル シール) 2.分解点検 (ライホ イール) 3.簡易点検 (潤滑油入 替)	高	1F 130M 104M 13M 104M 26M	○ — — ○ — ○	23回 21回 20回 23回 22回 22回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
加圧器			1.開放点検 2.簡易点検 (マンホール ガスケット取替)	高	39M 13M	— ○	23回 23回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
原子炉冷却系系統施設 「一次冷却材の循環 設備」 その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	B	○	22回	1次系弁検査		
原子炉冷却系系統施設 「一次冷却材の循環 設備」 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性試験 他)	高	B 13M 13M	○ ○ ○	22回 23回 23回	1次系弁検査 1次系弁検査		
原子炉冷却系系統施設 「一次冷却材の循環 設備」 その他機器	1式	1.分解点検他 1.分解点検他	高 低	65M～260M 52M～250M	○ ○	23回 23回		一部BMあり	一部BMあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全度	今回の実施時期		検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術
				計画	実施回数 (定檢回数)		
原子炉冷却系施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁	3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-531A 3V-MS-532A 3V-MS-526C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	1F B 26M	○ ○ ○	23回 22回 22回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査
	3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-531B 3V-MS-532B 3V-MS-530C 3V-MS-531C 3V-MS-532C	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高 1F B 26M	○ — —	23回 23回 23回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気逃がし弁	3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.漏えい試験 3.分解点検	高 1F B 13M 13M 13M	○ ○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回 23回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシング熱輸送設備作動検査 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
主蒸気逃がし弁駆動部	3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630	1.分解点検(特性試験) 2.簡易点検	高 1F 1F 1F	○ ○ ○	23回 23回 23回	最終ヒートシング熱輸送設備定期検査より追加 最終ヒートシング熱輸送設備定期検査より追加	
主蒸気隔離弁	3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C	1.機能・性能試験(駆動部含む) 2.分解点検	高 高 高 39M 39M 39M	— — — — — —	23回 22回 21回 23回 22回 21回	主蒸気隔離弁機能検査 主蒸気隔離弁機能検査 主蒸気隔離弁機能検査	
主蒸気隔離弁駆動部	3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C	1.分解点検 2.分解点検	高 高 高 39M 39M 39M	— — — — — —	23回 22回 21回 23回 22回 21回	主蒸気隔離弁機能検査 主蒸気隔離弁機能検査 主蒸気隔離弁機能検査	
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設備」その他弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(グランド パッキン取替)	高 B 65M	○ ○ ○	23回 23回 23回	2次系弁検査 2次系弁検査 2次系弁検査	
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設備」その他弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験)	高 B 52M～130M	○ ○	23回 23回	2次系弁検査 2次系弁検査	
原子炉冷却系施設「主蒸気・主給水設備」その他機器	1式	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 高 高 13M～26M 13M～19.5M	○ ○ —	23回 23回 23回	2次系弁検査 2次系弁検査 一部RMあり	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目				保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)
		1.機能・性能試験	2.分解点検(ボンブ)	3.簡易点検(潤滑油入替他)	4.分解点検(電動機)					
原子炉冷却系施設 〔余熱除去設備〕	A余熱除去ポンブ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	—	22回	1次系ポンブ機能検査	※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施	(振動診断: 1M)	
		2.分解点検(ボンブ)	78M	—	22回	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施	
		2.分解点検(電動機)	130M	—	21回				その他原子炉注水系ポンブ分解検査	その他原子炉注水系ポンブ分解検査
B余熱除去ポンブ・電動機	B余熱除去ポンブ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	—	22回	1次系ポンブ機能検査	※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施	(振動診断: 1M)	
		2.分解点検(ボンブ)	78M	—	22回	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施	
		2.分解点検(電動機)	130M	—	21回				その他原子炉注水系ポンブ分解検査	その他原子炉注水系ポンブ分解検査
A余熱除去ポンブ・電動機	A余熱除去ポンブ・電動機	3.簡易点検(潤滑油入替他)	13M	○	23回					
		1.開放点検	高	B※	—	22回	1次系ポンブ機能検査	※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施	(振動診断: 1M)	
		2.非破壊試験	—	—	—	22回	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	その他原子炉注水系ポンブ分解検査	
B余熱除去冷却器	B余熱除去冷却器	1.開放点検	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2.非破壊試験	—	—	—	18回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	17回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
低圧注入系主要弁	3V-RH-041A 3V-RH-041B 3-PCV-601 3-PCV-611 3V-SI-193A 3V-SI-193B 3V-SI-202A 3V-SI-202B 3V-SI-202C 3V-SI-203A 3V-SI-203B 3V-SI-203C 3V-SI-208A 3V-SI-208B	1.分解点検	高	130M	—	17回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	17回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	17回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
A余熱除去ポンブ・電動機	A余熱除去ポンブ・電動機	1.分解点検	高	130M	—	20回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	22回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	23回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
B余熱除去ポンブ・電動機	B余熱除去ポンブ・電動機	1.分解点検	高	130M	—	19回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	21回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
A余熱除去ポンブ・電動機	A余熱除去ポンブ・電動機	1.分解点検	高	130M	—	22回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	23回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	19回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
B余熱除去ポンブ・電動機	B余熱除去ポンブ・電動機	1.分解点検	高	130M	—	21回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	23回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
A余熱除去ポンブ・電動機	A余熱除去ポンブ・電動機	1.分解点検	高	130M	—	20回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	23回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		1.分解点検	高	130M	—	22回	1次系熱交換器検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目				保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1. 分解点検	2. 分解点検	3. 簡易点検	4. 機能・性能試験					
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	低圧注入系主要弁 3V-SI-209A 3V-SI-209B	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加		
低圧注入系主要弁駆動部 原子炉冷却系統施設「余熱除去設備」その他のみ	1式 1式	1. 分解点検 2. 分解点検 3. 簡易点検(グランド パンキン取替)	高 B 52M～130M 52M～130M	130M — ○ ○	19回 22回 23回 23回	19回 22回 23回 23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加		
原子炉冷却系統施設「余熱除去設備」その他のみ	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験)	高 B 52M～156M 13M～52M	— ○ ○	22回 22回 23回	22回 22回 23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査		
原子炉冷却系統施設「余熱除去設備」その他機器	1式	1. 分解点検他	高	130M～260M	○	23回				
その他AM(代替再循環)機器	1式	1. 分解点検他	高	130M～156M	—	21回	1次系弁検査	12回施設定期検査時に設置		
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	高圧及び低圧注入系 〔余熱除去設備(低圧注入機能)を含む〕	1. 機能・性能試験(ポン プ、電動機、弁、弁駆動 部等含む) 1. 機能・性能試験(状態 監視含む)	高 6M	IF ○	23回	23回	非常用炉心冷却系機能検査			
その他原子炉注入水系		1. 機能・性能試験(ポン プ、電動機、弁、弁駆動 部等含む)	高	IF	○	23回	その他原子炉注入水系機能検査	「対象設備」 ・A、B、C充てん／高圧注入ポン プ ・A、B余熱除去ポンプ		
							「対象設備」 ・A高圧注入系 ・B高圧注入系(自己冷却) ・C高圧注入系(海水による電動機冷 却) ・A低圧注入系 ・B低圧注入系(海水による電動機冷 却)			

機器又は系統名 〔非常用炉心冷却設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目				保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 （① 内は適用する 設備診断技術）
		1. 分解点検	3-LCV-121D	1. 分解点検	3-LCV-121E					
原子炉冷却系主要弁 〔高压注入系主要弁〕	高压注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-023A	3V-SI-023A	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-023B	3V-SI-023B	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-042A	3V-SI-042A	1. 分解点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-042B	3V-SI-042B	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-099A	3V-SI-099A	1. 分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-099B	3V-SI-099B	1. 分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-099C	3V-SI-099C	1. 分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-048A	3V-SI-048A	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-048B	3V-SI-048B	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-048C	3V-SI-048C	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	その他の原子炉注入水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
3V-SI-106A	3V-SI-106A	1. 分解点検	高	260M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査時に設置	19回施設定期検査時に設置	19回施設定期検査時に設置
3V-SI-106B	3V-SI-106B	1. 分解点検	高	260M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査時に設置	19回施設定期検査時に設置	19回施設定期検査時に設置
3V-SI-106C	3V-SI-106C	1. 分解点検	高	260M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査時に設置	19回施設定期検査時に設置	19回施設定期検査時に設置
3V-SI-087A	3V-SI-087A	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	20回	20回	20回
3V-SI-087B	3V-SI-087B	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	20回	20回	20回
3V-SI-087C	3V-SI-087C	1. 分解点検	高	260M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	23回	23回	23回
3V-SI-088	3V-SI-088	1. 分解点検	高	130M	—	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	—	—	—
1式	1式	1. 分解点検	高	150M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	21回	21回	21回
高压注入系主要弁駆動部	高压注入系主要弁駆動部									

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目				保全度 又は履歴	今回の実施 計画 (定期回)	前回実施時期 (定期回)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1.機能・性能試験(弁、 弁駆動部含む)	2.分解点検	3.開放点検	4.外観点検					
原子炉冷却系設備 〔非常用炉心冷却設備〕	蓄圧注入系 蓄圧注入系主要弁	3V-SI-132A	1.分解点検	高	1F	○	23回	非常用炉心冷却系機能検査	その他原子炉注水系機能検査(は21回 施設定期検査より追加)	
		3V-SI-132B	1.分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 (は21回施設定期検査より追加)	
		3V-SI-132C	1.分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 (は21回施設定期検査より追加)	
		3V-SI-134A	1.分解点検	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 (は21回施設定期検査より追加)	
		3V-SI-134B	1.分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 (は21回施設定期検査より追加)	
		3V-SI-134C	1.分解点検	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 (は21回施設定期検査より追加)	
		3V-SI-136A	1.分解点検	高	130M	○	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 (は21回施設定期検査より追加)	
		3V-SI-136B	1.分解点検	高	130M	○	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 (は21回施設定期検査より追加)	
		3V-SI-136C	1.分解点検	高	130M	○	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 (は21回施設定期検査より追加)	
蓄圧注入系主要弁駆動部		1式	1.分解点検	高	156M	—	23回			
A蓄圧タンク		1.開放点検	高	130M	—	21回				
B蓄圧タンク		1.開放点検	高	130M	—	21回				
C蓄圧タンク		1.開放点検	高	130M	—	21回				
ほう酸注入タンク		1.開放点検	高	130M	—	21回				
燃料取替用水タンク		1.開放点検	高	130M	—	17回				
格納容器再循環サブシステム		1.外観点検	高	1F	○	23回	原子炉格納容器再循環サブシステム検査	20回施設定期検査時に設置		
格納容器再循環サブクリーン		1.外観点検	高	10Y	—	23回				
燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	その他原子炉注水系機能検査	21回施設定期検査により追加		
		2.分解点検(ポンプ)		130M	—	—	その他原子炉注水系ポンプ分解検査			
		2.分解点検(電動機)		78M	—	—				
		3.簡易点検(潤滑油へ替 他)		13M	○	23回				

機器又は系統名 〔非常用炉心冷却設備〕	実施数（機器名）	点検及び試験の項目					保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 （① 内は適用する 設備診断技術）
		1. 機能・性能試験（ポンプ・電動機、弁、弁駆動部等含む）	2. 分解点検（ポンプ）	3. 分解点検（電動機）	4. 機能・性能試験	5. 簡易点検（潤滑油入替他）					
恒設代替低圧注水系	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検（ポンプ） 3. 分解点検（電動機） 4. 機能・性能試験 5. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	IF	B	—	—	○	23回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	21回施設定期検査時に設置 その他原子炉注水系機能検査は21回 施設定期検査より追加
原子炉冷却系統施設「非常用炉心冷却設備」その他の弁備	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検（特性試験他）	高・低	B	○	—	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	21回施設定期検査時に設置 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 は21回施設定期検査より追加
原子炉冷却系統施設「非常用炉心冷却設備」その他の弁備	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検（特性試験他）	高	IF	52M～156M	○	—	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	21回施設定期検査時に設置
原子炉冷却系統施設「非常用炉心冷却設備」その他の弁備	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～104M 13M～260M	B	○	—	○	22回 23回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	21回施設定期検査時に設置
原子炉冷却系統施設「非常用炉心冷却設備」その他の機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～260M 26M～260M	○	—	—	○	23回	一部BMあり	一部先行実施
化学体積制御系	A充てん／高压注入ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検（ポンプ） 3. 分解点検（電動機） 4. 簡易点検（潤滑油入替他）	高	IF	117M 104M 26M	— — ○	— — —	○	23回 21回 23回	化学体積制御系機能検査 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	定期事業者検査起動後 (振動診断：3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査 は21回施設定期検査より追加
B充てん／高压注入ポンプ・電動機		1. 分解点検（ポンプ） 2. 簡易点検（電動機） 3. 分解点検（潤滑油入替他）	高	117M 104M 26M	— — ○	— — —	— — —	○	22回 20回 23回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査 は21回施設定期検査より追加
C充てん／高压注入ポンプ・電動機		1. 分解点検（ポンプ） 2. 簡易点検（電動機） 3. 分解点検（潤滑油入替他）	高	117M 104M 26M	— — ○	— — —	— — —	— — —	21回 23回 23回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査 は21回施設定期検査より追加
体積制御タンク		1. 開放点検	高	130M	—	—	—	—	20回		
冷却材フィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	—	—	—	21回		
A冷却材脱塩管入口 フィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	—	—	—	21回		
B冷却材脱塩管入口 フィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	—	—	—	20回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	検査名		備考 () 内は適用する 設備診断技術)
					前回実施時期 (定検回次)	前回実施時期 (定期回次)	
原子炉冷却系制御設備 [化学体積制御設備]	非再生冷却器	1.開放点検(管側) 2.非破壊試験	高 高	130M 130M	— ○	19回 19回	
その他原子炉注水系主要弁 3V-CS-218	3V-CS-219	1.分解点検 1.分解点検	高 高	130M 130M	— —	19回 19回	1次系熱交換器検査
原子炉冷却系制御設備「化学体積制御設備」 [その他の弁 備]	3V-CS-233	1.分解点検 1.分解点検	高 高	130M 130M	— —	18回 18回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査
原子炉冷却系制御設備「化学体積制御設備」 [その他の弁 備]	3V-CS-234	1.分解点検 1.機能・性能試験 2.分解点検	高 高・低 高	130M B 13M~260M	— ○ ○	21回 23回 23回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加
原子炉冷却系制御設備「化学体積制御設備」 [その他の弁 備]	1式	2.分解点検 3.簡易点検(特性試験他)	高・低 高・低	13M~156M 13M~65M	○ ○	23回 23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査
原子炉冷却系制御設備「化学体積制御設備」 [その他の弁 備]	1式	1.機能・性能試験 1.分解点検他 1.分解点検他	高 高 低	13M~260M 13M~268M	○ ○ ○	23回 23回 23回	1次系逆止弁検査 1次系弁検査
原子炉冷却系制御設備「化学体積制御設備」 [その他の弁 備]	1式	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 1.分解点検(ポンプ)	高 高	1F 130M	○ —	23回 15回	辅助給水系機能検査 辅助給水系ポンプ分解検査
A電動補助給水ポンプ・電動機		1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(潤滑油入替他)		10.0M 1.3M	— ○	21回 23回	
B電動補助給水ポンプ・電動機		1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(潤滑油入替他)	高 高 高	130M 10.0M 1.3M	— — —	16回 22回 23回	辅助給水系ポンプ分解検査 (振動診断: 1M)
タービン動補助給水ポンプ		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高 高 高	E2M B 1.3M	— — ○	21回 21回 23回	辅助給水系ポンプ機能検査 (振動診断: 1M)
原子炉冷却系制御設備「蒸気タービン」の附 属設備	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(潤滑油入替他)	高 高 高	B 52M 52M	○ — —	23回 23回 23回	2次系ポンプ機能検査 2次系弁検査
原子炉冷却系制御設備「蒸気タービン」の附 属設備	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験)	高 高 高	B 52M~156M — 13M~52M	— — ○	23回 23回 23回	2次系弁検査 2次系弁検査 2次系弁検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目				保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		点検点検他	分解点検他	機能・性能試験 (弁、 弁駆動部含む)	機能・性能試験					
原子炉冷却系システム設置 〔蒸気タービンの附属設備〕	原子炉冷却系システム施設「蒸気タービン」の附属設備	1式	1. 分解点検他	高	26M～260M	○	23回			一部21回施設定検時に設置
原子炉冷却系システム設置 〔原子炉補機冷却水設備〕	原子炉補機冷却系		1. 機能・性能試験 (弁、 弁駆動部含む)	低	65M～130M	—	22回			
A 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	A 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	原子炉補機冷却系機能検査		
			2. 分解点検 (ポンプ)	B※		—	21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断 : 3M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			2. 分解点検 (電動機)	130M	—	—	21回			
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 他)	100M	—	—	20回			
				26M	○	23回				
B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	○	21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断 : 3M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)	130M	—	—	21回			
			2. 分解点検 (電動機)	100M	○	21回				
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 他)	26M	○	23回				
C 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	C 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	—	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断 : 1.2M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)	130M	—	—	19回			
			2. 分解点検 (電動機)	100M	—	—	22回			
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 他)	26M	○	22回				
D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	—	21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断 : 3M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)	130M	—	—	21回			
			2. 分解点検 (電動機)	100M	—	—	21回			
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 他)	26M	○	23回				
E 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	E 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	—	23回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断 : 3M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)	130M	—	—	21回			
			2. 分解点検 (電動機)	100M	—	—	23回			
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 他)	26M	○	23回				
大容量ポンプ	大容量ポンプ	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
			2. 分解点検	10Y	—	—			21回施設定期検査より追加	
A 原子炉補機冷却水冷却器	A 原子炉補機冷却水冷却器		1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査		
			2. 非破裂試験	13M	○	23回				
			3. 漏えい試験	13M	○	23回				
			4. 機能・性能試験	X※	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有 意な信号指示が認められた場合に実 施		
			5. 開放点検	X※	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・強度事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有 意な信号指示が認められた場合に実 施		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目				保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		開放点検	1. 開放点検	2. 非破壊試験	3. 漏えい試験					
原子炉冷却系系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕	B 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	○	13M	○	23回	1次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験	○	13M	○	23回				
		3. 漏えい試験	○	13M	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査	※ : 1次系熱交換器検査結果にて有 意な信号指示が認められた場合に実 施		
		4. 機能・性能試験	○	Y※	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査			
		5. 開放点検	○	Y※	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査			
C 原子炉補機冷却水冷却器		1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験	○	13M	○	23回				
		3. 漏えい試験	○	13M	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査	※ : 1次系熱交換器検査結果にて有 意な信号指示が認められた場合に実 施		
		4. 機能・性能試験	○	Y※	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査			
		5. 開放点検	○	Y※	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査			
D 原子炉補機冷却水冷却器		1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験	○	13M	○	23回				
		3. 漏えい試験	○	13M	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査	※ : 1次系熱交換器検査結果にて有 意な信号指示が認められた場合に実 施		
		4. 機能・性能試験	○	Y※	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査			
		5. 開放点検	○	Y※	○	23回	原子炉補機冷却水冷却器/伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査			
原子炉補機冷却水リージョンク		1. 開放点検	高	130M	—	21回	1次系真空破壊弁検査			
		1. 分解点検	高	130M	—	17回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	21回施設設定検査時に設置 21回施設定期検査より追加		
可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回				
		2. 分解点検	高・低	B	○	23回	1次系弁検査			
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却水 設備」その他の中の弁	1式	1. 機能・性能試験	高	130M	○	23回	1次系弁検査			
		2. 分解点検	高	B	—	22回	1次系逆止弁検査			
		3. 簡易点検(特性試験 他)	高	65M～156M	○	23回	1次系弁検査			
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却水 設備」その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	65M	○	23回				
		2. 分解点検	高	65M～156M	○	23回				
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却水 設備」その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～260M	○	23回				
		1. 分解点検他	低	65M～130M	○	23回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却却海水設備	原子炉補機冷却却海水系	1. 機能・性能試験 (弁、 弁駆動部含む)	高	1F E※ 52M 10AM 26M	○ — — — —	23回 21回 21回 20回 23回	原子炉補機冷却却系機能検査
A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入 替)	高 E※ 52M 10AM 26M	高 E※ 52M 10AM 26M	○ — — — —	○ — — — —	23回 21回 21回 20回 23回	先行実施 (振動診断 : 3M (対象 : 電動 機) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合させて実施
B 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	高 E※ 52M 10AM 26M	高 E※ 52M 10AM 26M	○ — — — —	○ — — — —	23回 23回 23回 23回 23回	先行実施 (振動診断 : 3M (対象 : 電動 機) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合させて実施
C 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	高 E※ 52M 10AM 26M	高 E※ 52M 10AM 26M	○ — — — —	○ — — — —	22回 21回 22回 22回 22回	先行実施 (振動診断 : 3M (対象 : 電動 機) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合させて実施
原子炉冷却却系統施設「原子炉補機冷却却海水設備」その他の弁 水設備	1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (弁棒グリス アッブ)	高 117M 13M	○ ○	— 23回	21回 23回	
原子炉冷却却系統施設「原子炉補機冷却却海水設備」その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 B 117M	○ ○	— 21回	21回 21回	
原子炉冷却却系統施設「原子炉補機冷却却海水設備」その他機器	1式	1. 分解点検他	高 13M~195M	○	— 23回	23回 23回	一部 BMあり
原子炉冷却却系統施設 「原子炉格納容器内一次冷却材 の漏えいを監視する装置」	1式	1. 分解点検他 2. 特性試験	低 13M 13M	○ ○	— 23回	23回 23回	格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格 納容器内縦縮液量測定装置漏えい検出器機 能検査
音測制御系統施設 「制御材」	照射済制御棒クラスター 照射済バブルトイズ 照射済ラジングデバイス 照射済2次中性子源	※ 1式 ※ 1式 ※ 1式 ※ 1式	1. 外観点検 1. 外観点検 1. 外観点検 1. 外観点検	高 高 高 高	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	※ : 原心設計による ※ : 原心設計による ※ : 原心設計による ※ : 原心設計による

機器又は系統名 [制御棒駆動装置]	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)	
								計48本	1.F
A 制御棒駆動装置MGセット (発電機・電動機)		1. 機能・性能試験	高	B※ 78M CBM	○ ○ -	21回 21回 13回	制御棒駆動クラスタ動作検査	(振動診断 : 3M)	※発電機または電動機の分解点検に合せて実施
B 制御棒駆動装置MGセット (発電機・電動機)		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 78M CBM 13M	○ ○ ○	21回 21回 23回	制御棒駆動クラスタ動作検査	(振動診断 : 3M)	※発電機または電動機の分解点検に合せて実施
A TW S 緩和設備	1式	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	B※ 78M CBM 13M	○ ○ ○	21回 14回 23回	制御棒駆動クラスタ動作検査	(振動診断 : 3M)	※発電機または電動機の分解点検に合せて実施
音測制御系統施設 〔工学的安全施設等の作動信号〕		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 78M CBM 13M	○ ○ ○	23回 23回 23回	重大事故時安全停止回路機能検査	21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査より追加
A ほう酸ポンプ・電動機 〔ほう酸注入機能を有する設備〕		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 78M CBM 13M	○ ○ ○	22回 22回 22回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断 : 1M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に合せて実施
B ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 78M CBM 13M	○ ○ ○	23回 23回 23回	ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断 : 1M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に合せて実施
C ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 78M CBM 13M	○ ○ ○	21回 21回 21回	ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断 : 1M)	※ポンプまたは電動機の分解点検に合せて実施
A 1次系補給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ 78M CBM 13M	○ ○ ○	21回 7回 23回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断 : 6M (対象: ポンプ))	※ポンプまたは電動機の分解点検に合せて実施
B 1次系補給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ 78M CBM 26M	○ ○ ○	23回 8回 22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断 : 6M (対象: ポンプ))	※ポンプまたは電動機の分解点検に合せて実施
A ほう酸タンク		1. 開放点検	高	195M 195M	- ○	23回 14回			
B ほう酸タンク		1. 開放点検	高	195M 195M	- ○	23回 14回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕	A:ほう酸タンクバキュームリーフ弁 B:ほう酸タンクアトモス弁	1. 分解点検 1. 分解点検	高 高	130M —	— 21回	1次系真空破壊弁検査 1次系真空破壊弁検査	
B:ほう酸タンクバキュームリーフ弁		1. 分解点検	高	130M —	19回	1次系真空破壊弁検査	
B:ほう酸タンクバキュームリーフ弁		1. 分解点検	高	130M —	19回	1次系真空破壊弁検査	
1次系純水タンク		1. 分解点検	低	195M —	— 14回		
1次系純水タンクアトモス弁		1. 分解点検	低	130M —	21回	1次系真空破壊弁検査	
1次系純水タンクバキュームリーフ弁		1. 分解点検	低	130M —	21回	1次系真空破壊弁検査	
ほう酸フィルタ		1. 分解点検	高	130M —	20回		
計測制御系統施設〔ほう酸注入機能を有する設備〕その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 —	B 130M —	— 23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
計測制御系統施設〔ほう酸注入機能を有する設備〕その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 —	B 156M —	— 19回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
計測制御系統施設〔ほう酸注入機能を有する設備〕その他機器	1式	1. 分解点検 1. 分解点検	高 低	91M～221M 104M～234M	— ○	19回 23回	一部BMあり 一部先行実施
ほう素熱再生抽出水冷却器		1. 分解点検(管側) 2. 非破壊試験	高 —	130M 195M 130M —	— — — 18回		先行実施
ほう素熱再生再熱器		1. 分解点検(管側) 2. 非破壊試験	高 —	130M 195M 130M —	— — — 18回	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	先行実施
ほう素熱再生前置熱交換器		1. 分解点検(管側)	高	130M —	— 18回		先行実施
計測制御系統施設〔ほう素再生設備〕その他弁	1式	1. 分解点検(管側) 2. 非破壊試験	— —	195M 130M —	— — 18回	1次系熱交換器検査 1次系安全弁検査	一部先行実施
計測制御系統施設〔ほう素再生設備〕その他弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 —	B 130M —	— 23回	1次系逆止弁検査 1次系安全弁検査	一部先行実施 一部先行実施

機器又は系統名 〔制御用空気設備〕	実施数（機器名）	点検及び試験の項目			保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 （① 内は適用する 設備診断技術）
		1. 機能・性能試験（圧縮機、電動機含む）	2. 分解点検（圧縮機）	3. 簡易点検（Vベルト調整）					
A 格納容器外制御用空気圧縮機・電動機	2台	1. 機能・性能試験（圧縮機、電動機含む） 1. 分解点検（圧縮機） 2. 簡易点検（Vベルト調整）	高	1F	○	23回	制御用空気圧縮系機能検査		（振動診断：3M（対象：電動機））
B 格納容器外制御用空気圧縮機・電動機		2. 簡易点検（潤滑油入替） 1. 分解点検（電動機） 2. 簡易点検（Vベルト調整）	高	26M CBM 26M	○ — ○	23回 13回 22回			
格納容器内制御用空気圧縮機	2台	1. 機能・性能試験（圧縮機、電動機含む） 1. 分解点検（圧縮機） 2. 簡易点検（潤滑油入替）	高	13M	○	23回			（振動診断：3M（対象：電動機））
A 格納容器内制御用空気圧縮機・電動機		1. 分解点検（電動機） 2. 簡易点検（Vベルト調整）	高	26M CBM 26M	○ — —	22回 14回 23回			
B 格納容器内制御用空気圧縮機・電動機		2. 簡易点検（潤滑油入替） 1. 分解点検（電動機） 2. 簡易点検（Vベルト調整）	高	13M	○	23回	制御用空気圧縮系機能検査		（振動診断：3M（対象：電動機））
計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他のみ	1式	1. 分解点検（圧縮機） 1. 分解点検（電動機） 2. 簡易点検（Vベルト調整）	高	26M 78M 26M	○ ○ ○	23回 21回 22回			（振動診断：3M（対象：電動機））
計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他弁駆動部	1式	2. 簡易点検（潤滑油入替） 1. 分解点検	高	13M	○	23回			
計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他機器	1式	1. 分解点検 1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 高 低	13M～260M 150M 13M～290M 13M～195M	— ○ ○ ○	23回 21回 23回 23回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査		
計測制御系統施設 [その他設備]	26回路	1. 特性試験 1. 原子炉保護系ロジック回路 2. 安全防護系ロジック回路	高・低	1.3M	○	23回	安全保護系設定値確認検査	保全の有効性評価結果No.3,4の反映	
		(1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 保護遮離電器 (2) 核計測装置 設定器	78個 144個 42個 20個 31個 8個						
		2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 (2) 核計測装置							

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目				保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備評価技術)
		1. 特性試験	2. 機能・性能試験	3. 分解点検	4. 特性試験					
計測制御系統施設 [その他設備]	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器 事故時試料採取設備 計測制御系統施設 格納容器 破裂板	4個 20個 13個 8個 1台	1. 機能・性能試験 1. 分解点検 1. 特性試験 2. 機能・性能試験	高 1F 高 13M 高 13M 高 1F	○ ○ ○ ○	23回 23回 21回 23回	プラント状態監視設備機能検査 プラント状態監視設備機能検査 1次系破壊板検査 計測制御系機能検査	一部21回施設定期検査時に設置 保全の有効性評価結果No.5, 6の反映		
1. 制御機制御系 2. 加压器水位制御系 3. 加压器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系 1次系及び2次系計測制御装置	1式	7台	1. 特性試験 1. 特性試験 1. 特性試験	高 13M 高 13M 高 13M	○ ○ ○	21回 23回 23回	一部定期事業者検査起動後	一部定期事業者検査起動後		
炉外核計測装置 中性子源領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置	1式	2台 2台 8台	1. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験)	高 13M 高 13M 高 13M	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	計測制御系監視機能検査 計測設備検査	一部定期事業者検査起動後		
炉内核計測装置	1式	1台	1. 機能・性能試験 1. 分解点検 1. 非破壊試験	高 13M 高 13M 高 52M	○ ○ ○	23回 23回 20回	核計装備検査 核計装備検査	一部定期事業者検査起動後		
炉内計装用シンプルチューブ 制御棒位置指示装置	50本 1式	50本	1. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(特性試験)	高 13M 高 13M 高 13M	○ ○ ○	23回 23回 23回	炉内計装用シンプルチューブ体積検査 制御棒位置指示装置設定値検査			
1. ハーミッジプロジェクト回路 2. ハーミッジ保護系 3. 安全防護系	5回路 3回路 1式	5回路 3回路 1台	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 1. 分解点検	高 1F 高 1F 高 1F	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	安全保護系機能検査 安全保護系機能検査			
総合インターロック 1. タービントリップによる原子炉、発電機トリップ回路 2. 発電機トリップによる原子炉、タービントリップ回路 3. 原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ回路	1式	1台	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 1. 分解点検	高 1F 高 1F 高 1F	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	総合インターロック検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査			
原子炉の停止制御回路	1式	2台	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 1F 高 1F 高 78M～260M	○ ○ ○	23回 23回 23回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査	21回施設定期検査により追加		
可搬型格納容器ガス試料圧縮装置 弁	1式	1台	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験)	高 B 高 B 高 65M	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査			
計測制御系統施設[その他設備]その他の 弁駆動部	1式									

機器又は系統名 計測制御系統施設 〔その他設備〕	実施数 (機器名) 計測制御系統施設「その他の設備」その他の機器 1式	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1. 分解点検他	1. 分解点検他					
放射性廃棄物の廢棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	ガス圧縮機 ガス圧縮機・電動機 ガス圧縮機・電動機 水素再結合装置	2台	1. 機能・性能試験 (圧縮 機、電動機含む) 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	低	13M～208M ○	23回		保全の有効性評価結果No.9, 10, 11の 反映
Aガス圧縮機・電動機		12台	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	低	12M～260M ○	23回		保全の有効性評価結果 No.12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21 , 22の反映
Bガス圧縮機・電動機		1基	1. 機能・性能試験 (圧縮 機、電動機含む)	低	1F 52M 52M	○ —	23回	(振動診断 : 4M) (振動診断 : 4M)
水素再結合装置		2台	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	低	1F 1F	○ ○	23回	気体廃棄物処理系機能検査
A水素再結合装置		1基	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	低	13M 13M 13M	○ ○ ○	22回	
B水素再結合装置		1基	1. 分解点検 1. 分解点検	高	13M	○	22回	1次系破壊板検査
1次系破壊板		12台	1. 分解点検 1. 分解点検	低	65M～130M 130M	○ ○	23回	先行実施
ほう酸回収装置		1式	1. 分解点検他 2. 簡易点検 (ガスケット ハッキキン取替)	低	65M～130M 130M	○ ○	23回	液体廃棄物処理系機能検査
ほう酸回収装置 (弁、機器)		3基	1. 機能・性能試験 2. 簡易点検他 2. 簡易点検 (ガスケット ハッキキン取替)	低	65M～156M 130M	○ ○	23回	液体廃棄物処理系機能検査
陸海蒸発装置		1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (ガスケット ハッキキン取替)	低	65M～156M 130M	○ ○	23回	液体廃棄物処理系設備検査
陸海蒸発装置 (弁、機器)			1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	低	CBM	—	21回	先行実施
A補助建屋冷却材下レンポン・電動機			2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	91M 39M	— —	7回	(振動診断 : 4M (対象: ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
B補助建屋冷却材下レンポン・電動機			1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	CBM 78M 39M	— — —	21回	液体廃棄物処理系設備検査
A1ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機			1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	CBM 78M 39M	— — —	8回	先行実施
B1ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機			1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	CBM 78M 39M	— — —	21回	(振動診断 : 4M (対象: ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
				低	CBM 78M 39M	— — —	23回	液体廃棄物処理系設備検査
				低	CBM 78M 39M	— — —	7回	先行実施
				低	CBM 78M 39M	— — —	23回	(振動診断 : 4M (対象: ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
				低	CBM 78M 39M	— — —	21回	液体廃棄物処理系設備検査

機器又は系統名 放射性廃棄物の廻り施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
A補助建屋サンプボンブ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンブ)	低	B※ 26M 16M	— — ○	23回 23回 16回 21回	液体廃棄物処理系設備検査 ※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施
B補助建屋サンプボンブ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンブ)	低	B※ 26M 16M	— — ○	21回 21回 14回	液体廃棄物処理系設備検査 ※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施
A補助建屋機器ドレンタンクポンブ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンブ)	低	B※ 26M 143M	— — ○	21回 21回 17回 21回	液体廃棄物処理系設備検査 ※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施
B補助建屋機器ドレンタンクポンブ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンブ)	低	B※ 26M 156M	— — ○	21回 21回 15回	液体廃棄物処理系設備検査 ※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施
A格納容器冷却材ドレンポンブ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンブ)	低	B※ 26M 78M 13M	— — — ○	23回 23回 21回 23回	液体廃棄物処理系設備検査 ※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施
B格納容器冷却材ドレンポンブ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンブ) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ 26M 78M 13M	— — — ○	22回 22回 21回 23回	液体廃棄物処理系設備検査 ※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施
A格納容器サンプボンブ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンブ)	低	B※ 52M 52M	— —	22回 22回	液体廃棄物処理系設備検査 ※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施
B格納容器サンプボンブ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンブ)	低	B※ 52M 52M	— —	23回 23回	液体廃棄物処理系設備検査 ※ポンブまたは電動機の分解点検に合せて実施

機器又は系統名 放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		B※	—					
A 廃液給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	CBM 78M 26M	— — ○	21回 8回 21回 22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
B 廃液給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	CBM 78M 26M	— — ○	23回 5回 23回 23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
C 廃液給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	CBM 78M 26M	— ○ —	21回 6回 21回 23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
34A 洗浄排水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	CBM 156M 39M	— — —	16回 6回 16回 22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
34B 洗浄排水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	CBM 156M 39M	— — ○	23回 7回 23回 21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
34A 洗浄排水モニタポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	CBM 156M 39M	— — —	23回 8回 23回 22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
34B 洗浄排水モニタポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	CBM 182M 39M	— — ○	15回 4回 15回 21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	

機器又は系統名 放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		点検	試験					
34A廃液蒸留水モニタリングポンプ・電動機	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	B※	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
34B廃液蒸留水モニタリングポンプ・電動機	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	B※	—	7回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
34A廃液蒸留水ポンプ・電動機	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	B※	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
34B廃液貯蔵タンク循環ポンプ・電動機	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	B※	—	18回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
34C廃液貯蔵タンク循環ポンプ・電動機	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入 替)	低	B※	—	7回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい防止に係る警報機能	1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低	CBM 20SM 39M	—	16回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能 検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置 位置及び警報装置 (3~4酸液ドレンタンク 水位伝送器)	1台	1. 特性検査	低	13M	○	23回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能 検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象 : ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
アスファルト固化設備	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	液体廃棄物処理系アスファルト固化設備 能検査	先行実施
アスファルト固化設備 (弁、機器)	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランド バッキン取替)	低	B 195M~260M 13M~260M	○ ○ ○	18回※ 26回※ 26回※	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は27回

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考
放射性廃棄物の処理施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	使用清掃脂スルースポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 開点検(潤滑油入替)	低 B※ CBM 75M 39M	○ — ○ —	21回 7回 21回 23回	固体廃棄物処理系設備検査	() 内は適用する 設備診断技術 先行実施 (振動診断 : 6M (対象 : ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
放射性廃棄物の廃棄施設「気体、液体又 は固体廃棄物処理設備」その他の弁	式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 B	○ ○	23回 23回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系真空破壊弁検査	一部先行実施
放射性廃棄物の廃棄施設「気体、液体又 は固体廃棄物処理設備」その他機器	式	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	○ ○	23回 23回	104M~130M 12M~260M	一部先行実施 一部BMあり 一部先行実施
放射性廃棄物の廃棄施設「漏えいの検出装置 及び警報装置 (最終の流入サッブ)	1式	1. 機能・性能試験	低	1F ○	○ ○	23回 23回	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置 及び警報装置機能検査(最終の流入サッブ) ※アス固化定検回次、今回ト26回
放射性廃棄物の処理施設 【原子炉格納容器本体外の廃棄物 貯蔵設備又は廃棄物処理設備から の液体状の放射性廃棄物の漏えい の検出装置又は自動警報装置】	4個	1. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 高 1F	○ ○ ○	23回 23回 23回	エリヤモニタ機能検査 エリヤモニタ機能検査	21回施設定期検査より追加
格納容器内高レンジエリヤモニタ	1台	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 高	13M 13M	○ ○	23回 23回	エリヤモニタ機能検査
格納容器排気筒ガスマニタ(3R-21)		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 高	1F 1F	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査
補助建屋排気筒ガスマニタ(3R-26)		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 高	13M 13M	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査
廃棄物処理設備排水モニタ(34R-35)		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 低	1F 13M	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査
格納容器じんあいモニタ(3R-40)		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 低	1F 1F	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査
格納容器ガスマニタ(3R-41)		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 低	13M 13M	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査
復水器空気抽出器ガスマニタ(3R-43)		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 高	1F 1F	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査
安全捕機室排気ガスマニタ(3R-46)		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低 低	13M 13M	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査
一般捕機室排気ガスマニタ(3R-48A)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査
一般捕機室排気ガスマニタ(3R-48B)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査
使用済燃料ビット排気ガスマニタ(3R-49)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査
建屋内漏洩検知ガスマニタB(3R-50A)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査
素氣発生器プロダクションモニタ(3R-55)		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 高	1F 13M	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査 一部定期事業者検査起動後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1.機能・性能試験	2.特性試験					
放射線管理用計測装置	原子炉補機冷却水モニタ (3R-56)	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回		
	補助蒸気復水モニタ (3R-57)	2.特性試験	1.機能・性能試験	13M	○	23回		
	タービンサンプル水モニタ (3R-58)	2.特性試験	1.機能・性能試験	1F	○	23回		
1次系建屋基礎湧水モニタ (3R-59)	1.機能・性能試験	低	1.機能・性能試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
A高感度型主蒸気管モニタ (3R-65)	2.特性試験	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査	
B高感度型主蒸気管モニタ (3R-66)	1.特性試験	1.特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
C高感度型主蒸気管モニタ (3R-67)	1.特性試験	高	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
1次冷却材連続モニタ (3R-70)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
ほう酸蒸留水モニタ (3R-71)	1.機能・性能試験	低	1.特性試験	1F	○	23回		
格納容器排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) (3R-80A)	2.特性試験	高	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
格納容器排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) (3R-80B)	1.特性試験	高	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
補助建屋排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) (3R-81A)	1.特性試験	高	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
補助建屋排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) (3R-81B)	1.特性試験	高	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
A主蒸気管モニタ (3R-87)	1.特性試験	高	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
B主蒸気管モニタ (3R-88)	1.特性試験	高	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
C主蒸気管モニタ (3R-89)	1.特性試験	高	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
放水口水モニタ (34R-99)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
中央制御室エアロゾク区域エアモニタ (3R-1)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
格納容器内エアロゾク区域エアモニタ (34R-3)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
放射化学室エアリニアモニタ (3R-4A)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
A充てんポンプ室エアリニアモニタ (3R-4B)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
B充てんポンプ室エアリニアモニタ (3R-4C)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
使用済燃料ビット区域エアモニタ (3R-5)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
サンプリング室エアリニアモニタ (34R-6)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
炉内計器区域エアリニアモニタ (3R-7)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
アスファルト固化装置ドーム充てん監視区域エアリニアモニタ (34R-9A)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
光でんドーム貯蔵室クレーン操作区域エアリニアモニタ (34R-9B)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
格納容器内オペレーティングフロアエアリニアモニタ (3R-10)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
1次系補機操作室エアリニアモニタ (34R-11)	1.特性試験	低	1.特性試験	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目			保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備技術)
		高	13M	○					
放射線管理用計測装置	可搬式使用済燃料ビット区域周辺エリアモニタ	1. 特性試験			23回	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定期検査時に設置		
	放射線管理施設「放射線管理用計測装 置」その他の弁	1. 分解点検	高	13M	—	21回	1次系弁検査		
	放射線管理施設「放射線管理用計測装 置」その他機器	1. 分解点検他	高	13M	○	23回			一部BMあり
放射線管理施設	中央制御室遮蔽	1. 分解点検	低	13M	○	23回	中央制御室の居住性確認検査	21回施設定期検査より追加	
〔生体遮蔽装置〕	緊急時対策所遮蔽	1. 濡えい試験	高	6V	—	21回	緊急時対策所の居住性確認検査	21回施設定期検査より追加	
	放射線管理施設「生体遮蔽装置」その他 機器	1. 外観点検	高	1F	○	23回			21回施設定期検査時に設置
放射線管理施設 〔換気設備〕	A格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		先行実施
	B格納容器排気フィルタユニット	2. 開放点検	4F	—	22回				
	A格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験、 2. 開放点検	4F	○	23回	1次系換気空調設備検査			先行実施
	B格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	4F	—	22回				
中央制御室非常用循環系(A系列)	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、 弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
中央制御室非常用循環系(B系列)	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、 弁駆動部等含む)	高	1F	—	21回※	中央制御室非常用循環系機能検査			4号設備 ※4号での実績
中央制御室非常用循環フィルタユニット(A系列)	1. よう素フィルタ性能検 査(よう素除去効率検 査) 2. 機能・性能試験 3. 開放点検(フィルタ取 替)	高	1F	○	23回	中央制御室非常用循環系フィルター性能檢 查			
中央制御室非常用循環フィルタユニット(B系列)	1. よう素フィルタ性能検 査(よう素除去効率検 査) 2. 機能・性能試験 3. 開放点検	高	1F	—	22回	中央制御室非常用循環系フィルター性能檢 查			※4号での実績
	1. よう素フィルタ性能検 査(よう素除去効率検 査) 2. 機能・性能試験 3. 開放点検(フィルタ取 替)	高	1F	—	21回※	中央制御室非常用循環系フィルター性能檢 查			4号設備 ※4号での実績
	1. よう素フィルタ性能検 査(よう素除去効率検 査) 2. 機能・性能試験 3. 開放点検(フィルタ取 替)	高	1F	—	21回※	中央制御室非常用循環系フィルター性能檢 查			4号設備 ※4号での実績
	1. よう素フィルタ性能検 査(よう素除去効率検 査) 2. 機能・性能試験 3. 開放点検	高	4F	—	20回※2	中央制御室非常用循環系フィルター性能檢 查			4号設備 ※4号での実績
			4F	—	18回※				4号設備 ※4号での実績

機器又は系統名 [換気設備]	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	保全方式 計画	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)	
								実施	実施
放射線管理室排氣フィルタユニット	34A 放射線管理室排氣フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 4F	○ —	23回 22回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施
34B 放射線管理室排氣フィルタユニット	34C 緊急時対策所可搬型空気淨化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検 1. 機能・性能試験 (よううそくフィルタ性能検査)	低 高	1F 4F 1V	○ — ○	23回 22回 23回	1次系換気空調設備検査 可搬型換気空調設備検査	先行実施 21回施設定期検査より追加	先行実施
緊急時対策所非常用空気淨化フィルタユニット (34号機 一部使用承認設備を対象)	3台	1. 機能・性能試験 (よううそくフィルタ性能検査)	高	1V	○	—	可搬型換気空調設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 2019年6月に設置	先行実施
A補助建屋排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 4F	○ —	23回 22回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施
B補助建屋排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 4F	○ —	23回 22回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施
燃料取扱室排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 4F	○ —	23回 22回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施
34ペイロア排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 4F	○ —	23回 22回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施
34ホット工作室排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 4F	○ —	23回 23回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施
34A中央制御室空調ユニット		1. 開放点検	高	E2M	—	—			
34B中央制御室空調ユニット		1. 開放点検	高	E2M	—	—			
34C中央制御室空調ユニット		1. 開放点検	高	E2M	—	—			
34D中央制御室空調ユニット		1. 開放点検	高	E2M	—	—			
A格納容器給氣ユニット		1. 開放点検	低	E2M	—	—			
B格納容器給氣ユニット		1. 開放点検	低	E2M	—	—			
A補助建屋給氣ユニット		1. 開放点検	低	E2M	—	—			
B補助建屋給氣ユニット		1. 開放点検	低	E2M	—	—			
3・4放射線管理室給氣ユニット		1. 開放点検	低	E2M	—	—			
A格納容器給氣ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ —	21回 21回	1次系換気空調設備検査 (振動))	先行実施	先行実施
B格納容器給氣ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ —	8回 23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動))	先行実施
A格納容器排氣ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	低	CBM	—	—			
B格納容器排氣ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	低	CBM	—	8回 21回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動))	先行実施
A格納容器排氣ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	CBM	—	23回 21回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動))	先行実施
B格納容器排氣ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	CBM	—	23回 21回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動))	先行実施

機器又は系統名 放射線管理施設 〔換気設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)					
A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (電動機)	260M	-	22回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)	10.0M	○	22回				
B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	26M	○	22回				
	2. 分解点検 (電動機)	10.0M	○	22回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)	26M	○	22回				
C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)	260M	-	19回				
	3. 簡易点検 (電動機)	10.0M	○	22回				
D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	26M	-	23回				
	2. 分解点検 (電動機)	10.0M	-	23回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)	26M	-	23回				
A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)	260M	-	21回				
	3. 簡易点検 (電動機)	10.0M	-	23回				
B 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	26M	-	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (電動機)	9.1M	-	21回				
	3. 簡易点検 (ファン)	260M	-	21回				
34A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (電動機)	260M	-	18回				
	3. 簡易点検 (電動機)	9.1M	-	22回				
34B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (電動機)	260M	-	20回				
	3. 簡易点検 (ファン)	7.8M	-	22回				
34C 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (電動機)	260M	-	17回				
	3. 簡易点検 (電動機)	7.8M	○	21回				
34D 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	1F	-	21回※	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)	260M	-	16回※				
	3. 簡易点検 (電動機)	7.8M	-	20回※				
	1. 機能・性能試験	1F	-	21回※	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)	260M	-	17回※				
	3. 簡易点検 (電動機)	7.8M	-	16回※				

機器又は系統名 〔換気設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
								(振動診断 : 4M (対象 : 電動 機))
放射線管理施設 〔換気設備〕	34A 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F 260M 78M	○ — ○	23回 19回 22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 4M (対象 : 電動 機))
	34B 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	高	1F 260M 78M	○ — ○	23回 15回 21回	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 4M (対象 : 電動 機))
34C 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F 260M 78M	— — —	— 20回※ —	20回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 4M (対象 : 電動 機))	※4号での実績
	2. 分解点検 (電動機)	高	1F 260M 78M	— — —	— 20回※ —	20回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 4M (対象 : 電動 機))	※4号での実績
34D 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F 260M 78M	— — —	— 16回※ —	20回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 4M (対象 : 電動 機))	※4号での実績
	2. 分解点検 (電動機)	高	1F 260M 78M	— — —	— 20回※ —	20回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 4M (対象 : 電動 機))	※4号での実績
34A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F 260M 117M	○ — —	23回 16回 21回	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	
	2. 分解点検 (電動機)	高	1F 260M 117M	○ — —	23回 19回 —	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	
34B 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F 260M 117M	— — ○	— 21回※ —	21回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	
	2. 分解点検 (電動機)	高	1F 260M 117M	— — ○	— 16回※ —	16回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	※4号での実績
34C 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F 260M 117M	— — —	— 21回※ —	21回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	※4号での実績
	2. 分解点検 (電動機)	高	1F 260M 117M	— — —	— 16回※ —	16回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	※4号での実績
34D 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F 260M 117M	— — —	— 19回※ —	19回※ 1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1M)	※4号での実績
	2. 分解点検 (電動機)	高	1F 260M 117M	— — —	— 23回 —	23回 —	先行実施 21回施設定期検査より追加	
緊急時対策所可搬型空気淨化ファン	4台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	23回		
		2. 分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ —	23回 7回	1次系換気空調設備検査	先行実施
34A 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ —	23回 21回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (電動機)	低	10FM	○	—	21回	1次系換気空調設備検査	先行実施
34B 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○ —	— 16回	23回	1次系換気空調設備検査	
	2. 分解点検 (電動機)	低	10FM	— ○	— 21回	21回	1次系換気空調設備検査	先行実施
34A 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	1F 260M 78M	— — —	— 20回 —	20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 4M (対象 : ファ ン))
	2. 分解点検 (電動機)	低	1F 260M 78M	— — —	— 21回 —	21回	1次系換気空調設備検査	先行実施
34B 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	1F 260M 78M	— — —	— 17回 —	17回	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 4M (対象 : ファ ン))
	2. 分解点検 (電動機)	低	1F 260M 78M	— — —	— 23回 —	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施

機器又は系統名 放射線管理施設 〔換気設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目			保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1. 機能・性能試験	2. 分解点検 (ファン)	3. 分解点検 (電動機)					
A補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 21回 14回	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象: 電動機))
	2.分解点検 (モータ内部清掃)	低	156M	—	21回	—	—	—	
	3.簡易点検 (モータ内部清掃)	低	150M	—	21回	—	—	—	
B補助建屋排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 21回 7回	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M (対象: 電動機))
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
A補助建屋排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 15回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
B補助建屋排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 16回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
C補助建屋排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 17回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	20回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
A燃料取扱室給氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 20回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
B燃料取扱室排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 21回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	20回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
A燃料取扱室排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 20回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
B燃料取扱室排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 21回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	20回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
34ベイラ排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 20回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	18回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
34ホット作業室排氣ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 16回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	16回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	16回	—	—	—	
34廃棄物処理建屋送氣ブースターファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F 260M CBM	○ — —	23回 21回 —	○ — —	○ — —	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断 : 4M)
	2.分解点検 (ファン)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	
	3.分解点検 (電動機)	低	260M 104M	— —	21回	—	—	—	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)		備考 () 内は適用する 設備診断技術)
					検査名	実施回数	
放射線管理施設 [換気設備]	自動ダッシュパ	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検他	高・低 65M~130M	○ —	23回 23回	一部先行実施
放射線管理施設「換気設備」その他	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高 130M	○ —	— 20回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	
放射線管理施設「換気設備」その他機器	1式	1.分解点検他 1.分解点検他	高 1Y~260M	○ ○	— 23回	一部先行実施 一部 BMあり	
放射線管理施設「換気設備」その他機器	1式	1.特性試験 1.漏えい率試験	高 1Y	○ ○	— 23回	21回施設定検時に設置	
可搬型気象観測装置	1式	1.漏えい率試験	高 3F	○ ○	— 21回	原子炉格納容器全体漏えい率検査 10年(第21回において設計圧力にて実施予定)	
原子炉格納容器 「原子炉格納容器」	通常用 1個	1.漏えい率試験 2.分解点検 3.簡易点検(ハッキン取 替他)	高 E2M	○ ○	— 20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
エアロック	非常用 1個	1.漏えい率試験 2.分解点検 3.簡易点検(ハッキン取 替他)	高 E2M	○ ○	— 23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
機器搬入口	1個	1.漏えい率試験 2.非破壊試験	高 2回/3F	— —	— 23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査 原子炉格納容器用期間中検査	TSIプログラムによる。 [別表-6]
配管貫通部	1式	1.漏えい率試験 2.開放点検	高 13M	○ —	— 23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査 原子炉格納容器局部漏えい率検査	※但し、最長1回/10定期
電線貫通部	1式	1.漏えい率試験	高 2回/3F	— —	— 23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
原子炉格納容器隔離弁 格納容器隔離信号(T・V信号)により 隔離される弁	1式	1.漏えい率試験	高 2回/3F	— —	— 23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
格納容器スプレイ・隔壁信号(P・V信 号)により隔離される弁	20個	1.機能・性能試験(弁、 弁駆動部等含む) 1.機能・性能試験(弁、 弁駆動部等含む)	高 IF	○ ○	— 23回	原子炉格納容器隔壁弁機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名		備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		点検	試験					検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)	
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔壁弁	3V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CS-004B	1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CS-004C	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-DP-001A	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-DP-001B	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-DP-003A	1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-DP-003B	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-IL-355	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-IL-019	1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CS-007	1. 分解点検	高	52M	—	21回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-IL-354	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-IL-018	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-VR-001A	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-VR-001B	1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-VR-002A	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-VR-002B	1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-IA-508A	1. 分解点検	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CS-308	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CS-310	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CG-489	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CG-482	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CG-523	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CG-521	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CG-546	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-CG-544	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
		3V-IA-508B	1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔壁弁分解検査		
1式			2. 簡易点検(グランド パッキン取替)	高	65M	○				
原子炉格納容器隔壁弁駆動部	1式		1. 分解点検(特性試験)	高	52M~156M	○	23回			
原子炉格納容器真空逃がし弁	4個		2. 簡易点検(漏えい試験)	高	52M~130M	○	23回	原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査		
原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他 他の弁	1式		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回			
			2. 分解点検	高	52M~130M	○	23回	1次系弁検査		
			3. 簡易点検(グランド パッキン取替)	高	52M	—	23回	2次系弁検査		
原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他 他の弁駆動部	1式		1. 機能・性能試験	高	B	○	23回	1次系弁検査		
			2. 分解点検	高	13M~65M	○	23回	2次系弁検査		
原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他 他の機器	1式		1. 分解点検	高	13M~130M	○	23回	1次系弁検査		
			2. 分解点検	低	130M	—	22回	一部BMあり		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	原子炉格納容器スプレイ系	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 2.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 3.機能・性能試験(状態監視含む)	高 IF IF	○ ○ ○	23回 23回 23回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査 原子炉注水系機能検査	「対象設備」 ・A.原子炉格納容器スプレイポンプによる代替炉心注入系 21回施設定期検査より追加
A原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(潤滑油入替他)	高 130M 130M	— — —	19回 21回 23回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	「振動診断：1M」 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 は21回施設定期検査より追加	
B原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(潤滑油入替他)	高 130M 130M 26M	— — —	23回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	「振動診断：1M」	
A格納容器スプレイ冷却器	1.開放点検(管側) 1.開放点検(胴側) 2.非破壊試験(管側) 2.非破壊試験(胴側)	高 130M 130M 130M 130M	— — — —	19回 19回 19回 19回			
B格納容器スプレイ冷却器	1.開放点検(管側) 1.開放点検(胴側) 2.非破壊試験	高 130M 130M 130M	— — —	20回 20回 20回			
原子炉格納容器スプレイ系主要弁 3V-OP-024A	1.分解点検	高 130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-OP-024B	1.分解点検	高 130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-OP-054A	1.分解点検	高 130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-OP-054B	1.分解点検	高 130M	—	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-OP-001A	1.分解点検	高 130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-OP-001B	1.分解点検	高 130M	—	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-OP-003A	1.分解点検	高 130M	—	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-OP-003B	1.分解点検	高 130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部 1式	1.分解点検	高 155M	—	20回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		点検	試験					
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	可燃性ガス濃度制御系主要弁 3V-VS-101A 3V-VS-101B 3V-VS-102A 3V-VS-102B 3V-VS-103A 3V-VS-103B 3-PGV-2465 3-PGV-2485 よう素除去薬品タンク よう素除去薬品タンクベキュームリリー アニュラス空気浄化系 A, Bアニュラス空気浄化フィルタユニット ニット	1. 分解点検	1. 分解点検	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	1. 分解点検	高	65M	—	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	1. 分解点検	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	1. 分解点検	高	65M	—	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	1. 分解点検	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	1. 分解点検	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	1. 分解点検	高	65M	—	23回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 21回施設定期検査より追加
		1. 開放点検	1. 開放点検	高	130M	—	20回	20回 1次系真空破壊弁検査
		1. 分解点検	1. 分解点検	高	130M	—	20回	20回 1次系真空破壊弁検査
		1. 機能・性能試験(ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む) (よう素フィルタ性能検査(よう素除去効率検査)) 1. よう素フィルタ性能検査(漏えい率検査) 2. 開放点検(フィルタ取替)	高	IF	○	23回	アニュラス循環排気系機能検査	
A, Bアニュラス空気浄化フィルタユニット ニット	A系 B系	1. 機能・性能試験(ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む) (よう素フィルタ性能検査(よう素除去効率検査)) 1. よう素フィルタ性能検査(漏えい率検査) 2. 開放点検(フィルタ取替)	高	IF	○	23回	アニュラス循環排気系フィルター性能検査 ※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施	A系、B系交互に実施
		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	IF	○	23回	アニュラス循環排気系フィルター性能検査 ※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施	
		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	4F	—	23回	1次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	4F	—	22回	1次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン)	高	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1M)
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機)	高	260M	—	20回	20回	
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン)	高	78M	—	22回	22回	
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機)	高	260M	—	21回	21回	
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機)	高	78M	—	22回	22回	
		1. 機能・性能試験 2. 開放点検(フィルタ取替)	高	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1M)
安全補機室空気浄化ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 開放点検(ファン)	高	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能試験 2. 開放点検(電動機)	高	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能試験 2. 開放点検(フィルタ取替)	高	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)		備考 () 内は適用する 設備診断技術)
					検査名	(振動診断 : 1M)	
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	A安全補機室空気淨化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ファン)	高	1F 260M 78M	○ — —	23回 20回 23回	
	B安全補機室空気淨化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(電動機)	高	1F 260M 78M	○ — —	23回 21回 21回	(振動診断 : 1M)
静的触媒式水素再結合装置	MB-045	1.分解点検(ファン)	高	260M 78M	○	21回	
		2.機能・性能試験	高	1F 5F	○ —	23回 —	21回施設定期検査より追加
MB-046	1.外観点検	高	1F	○	23回	21回施設定期検査より追加	
	2.機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加
MB-047	1.外観点検	高	1F	○	23回	21回施設定期検査より追加	
	2.機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加
MB-048	1.外観点検	高	1F	○	23回	21回施設定期検査より追加	
	2.機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加
MB-049	1.外観点検	高	1F	○	23回	21回施設定期検査より追加	
	2.機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加
原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	21回施設定期検査より追加
1次系計制御装置	1式	1.特性試験	高	13M	○	23回	21回施設定期検査より追加
		1.機能・性能試験 2.分解点検	高 高・低	B 130M	○ ○	20回 23回	計測制御系監視機能検査
原子炉格納施設「圧力低減設備その他の弁 安全設備」その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	20回	1次系弁検査
		2.分解点検	高・低	130M	○	23回	1次系弁検査
原子炉格納施設「圧力低減設備その他の 安全設備」その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験)	高 65M~156M 65M	B ○ ○	○ 22回 22回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
		1.分解点検他	高	65M~130M	○	23回	
原子炉格納施設「圧力低減設備その他の 安全設備」その他機器	1式	1.分解点検他	低	65M~130M	○	23回	一部BMあり
		1.分解点検他	高	130M	—	21回	1次系逆止弁検査
その他のAM(代替再循環、格納容器内注 水)機器	1式					12回施設定期検査に設置	

機器又は系統名 〔その他設備〕	実施数（機器名）	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	保全方式 計画	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 〔() 内は適用する 設備技術〕
		1. 非破壊試験	2. 漏えい試験						
原子力設備 〔その他設備〕	クラス1機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	7Y IF	○ ○	23回 23回	クラス1機器供用期間中検査 クラス1機器供用期間中検査	ISTIプログラムによる。 [別表-1]
クラス2機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高 高	10Y 10Y 10Y	○ ○ ○	23回 23回 23回	クラス2機器供用期間中検査 クラス2機器供用期間中検査 クラス3機器供用期間中検査	ISTIプログラムによる。 [別表-2]	
クラス3機器(供用期間中検査対象)	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高 高	10Y 10Y	○ ○	23回 23回	クラス3機器供用期間中検査	ISTIプログラムによる。 [別表-3]	
クラス1機器Ni基合金使用部位 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊検査 2. 漏えい試験	高 高	3Y 25%/10Y	— ○	23回 22回	供用期間中特別検査のうちクラス1機器N i基合金使用部位特別検査	ISTIプログラムによる。 [別表-4]	
クラス2管(原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	○	18回	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管 子炉格納容器内)特別検査	ISTIプログラムによる。 [別表-5]	
蒸気発生器管台(重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高 高	10Y 1F~10Y	○ ○	23回 23回	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台 溶接部の健全性確認検査	ISTIプログラムによる。 [別表-1]	
重大事故等クラス2機器	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高 高	10Y 10Y	— —	—	重大事故等クラス2機器供用期間中検査 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISTIプログラムによる。 [別表-7]	
重大事故等クラス3機器	1式	1. 漏えい試験	高	10Y	—	—	重大事故等クラス3機器供用期間中検査	ISTIプログラムによる。 [別表-8]	
クラスマニホールド 〔その他設備〕	1式	1. 外観点検	高・低	100%/5Y~ 100%/10Y	○	23回	構造健全性検査	21回施設定期検査より追加 停止中	
クラスマニホールド 〔その他設備〕	1式	1. 漏えい試験	高	IF	○	23回	構造健全性検査	24回回施設定期検査より設定	
レスストレインント 1. 1次冷却却水管アソシエイト 2. 主蒸気配管アソシエイト 3. 主給水配管アソシエイト	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y	—	16回	レストレイント検査		
原子力設備「その他設備」その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 B	—	—	23回	1次系安全弁検査		
原子力設備「その他設備」その他の機器	1式	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	13M~130M 12M~156M	○ ○	23回 23回	1次系逆止弁検査	一部BMあり 一部先行実施	
原子力設備・タービン設備 〔その他設備〕	1式	1. 外観点検 1. 分解点検他	高・低	100%/10Y	○	23回	耐震健全性検査	12回施設定期検査時設置(一部)	
原子力設備・タービン設備 〔その他設備〕	1式	1. 分解点検他	高	52M~182M	○	23回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目			保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃他)					
蒸気タービン 〔車室、円板、隔板、噴口、翼、 車軸〕	高圧タービン	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃他)	高	26M B 13M	— ○	23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 外観点検	3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃他)	高	26M 2F 13M	○ — ○	22回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 外観点検	3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃他)	高	26M 2F 13M	— ○ ○	23回 22回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
第1低圧タービン	第2低圧タービン	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃他)	高	26M 2F 13M	— ○ ○	23回 22回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 外観点検	3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃他)	高	26M 2F 13M	○ — ○	22回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 外観点検	3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃他)	高	26M 2F 13M	— ○ ○	22回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
第3低圧タービン	ロータ	1. 組立状況点検	2. 保安装置点検	3. 負荷点検	高	IF IF IF	○ ○ ○	23回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン性能検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
蒸気タービン本体及び附属設備	# 1 主蒸気止め弁	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン性能検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン性能検査
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並び に調速装置で制御される主要弁〕	# 2 主蒸気止め弁	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
# 3 主蒸気止め弁	# 4 主蒸気止め弁	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
# 1 蒸気加減弁	# 2 蒸気加減弁	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
# 3 蒸気加減弁	# 4 蒸気加減弁	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
A 1 再熱蒸気止め弁	A 2 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	23回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	23回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	21回 21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
A 3 再熱蒸気止め弁	B 1 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	23回 23回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	23回 23回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	21回 21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
B 2 再熱蒸気止め弁	B 3 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	21回 21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	21回 21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
		1. 開放点検	2. 組立状況点検	3. 組立状況点検	高	39M B 39M	— — —	21回 21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	() 内は適用する 備考 設備診断技術)
		点検	試験					
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並び に調速装置で制御される主要弁〕	A 1 インターセプト弁 A 2 インターセプト弁 A 3 インターセプト弁	1.開放点検 1.開放点検	高 高	39M 39M	— ○	23回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
B 1 インターセプト弁 B 2 インターセプト弁 B 3 インターセプト弁	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高	39M 39M 39M 39M 39M	— — — — ○	23回 23回 23回 21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査		
調速装置(非常調速装置)	1.開放点検 1.機能・性能試験(ポンプ、電動機含む)	高 高	1F 1F	○ ○	23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン附属設備機能検査		定期事業者検査起動後
復水・循環水系統 〔復水器〕	1.開放点検 2.防汚塗装 1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(润滑油ユニット作動油清潔度管理)	高 高 高 高 高	13M 26M 26M 26M 26M	○ ○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 定期事業者検査		
A 循環水ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(润滑油) 2.作動油清潔度管理)	高 高 高 高	10.4M 10.4M 26M 26M	— — ○ ○	22回 22回 22回 22回			
B 循環水ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(润滑油) 2.作動油清潔度管理)	高 高 高 高	26M 10.4M 26M 26M	— — — —	23回 23回 23回 23回			
A 復水器真空ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(潤滑油入替他)	高 高 高	39M CBM 13M	○ — ○	21回 19回 23回			(振動診断 : 3M)
B 復水器真空ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(潤滑油入替他)	高 高 高	39M CBM 13M	— — —	23回 11回 23回			(振動診断 : 3M)
C 復水器真空ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(潤滑油入替他)	高 高 高	39M CBM 13M	— — ○	22回 16回 23回			(振動診断 : 3M)
A 復水ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(ストレーナ清掃)	高 高 高	39M 10.4M 13M	— — ○	23回 19回 23回			(振動診断 : 3M)
B 復水ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(ストレーナ清掃)	高 高 高	39M 10.4M 13M	○ — ○	21回 20回 23回			(振動診断 : 6M)
C 復水ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(ストレーナ清掃)	高 高 高	39M 10.4M 13M	○ — ○	21回 22回 23回			(振動診断 : 6M)
蒸気タービン「復水器」その他機器 式	1.分解点検他	低	78M~260M	○	23回			一部BMあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		開放点検	1. 開放点検 2. 非破壊試験					
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換 器〕	3 A 湿分分離加熱器 脚側	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	26M 130M	○ —	22回 18回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	3 A 湿分分離加熱器 管側(発電機側)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	130M 130M	— —	18回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	3 A 湿分分離加熱器 管側(調速機側)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	130M 130M	— —	20回	蒸気タービン開放検査	
	3 B 湿分分離加熱器 脚側	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	26M 130M	— —	23回 19回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	3 B 湿分分離加熱器 管側(発電機側)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	130M 130M	— —	19回	蒸気タービン開放検査	
	3 B 湿分分離加熱器 管側(調速機側)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	130M 130M	— —	21回	蒸気タービン開放検査	
A 脱気器		1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	26M 130M	○ —	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
B 脱気器		1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	26M 13M	— ○	22回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
脱気器タンク		1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 高	65M 65M	— —	23回	蒸気タービン開放検査	
第1 A 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	22回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第1 B 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	17回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第1 C 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	18回 19回 19回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第2 A 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	19回 22回 22回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第2 B 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	17回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第2 C 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	18回 19回 19回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第3 A 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	19回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第3 B 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	19回 20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
第3 C 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高 高 高	130M 65M 65M	— — —	20回 20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考	
							() 内は適用する 設備診断技術)	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	第4 A低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	23回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	B	—	—	23回		
		3. 非破壊試験	130M	—	18回	19回	2次系熱交換器検査	
第4 B低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	○	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	B	○	19回	19回		
		3. 非破壊試験	130M	—	19回	19回		
第4 C低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	—	20回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	B	—	20回	20回		
		3. 非破壊試験	130M	—	20回	20回		
第6 A高压給水加熱器		1. 開放点検	高	130M	—	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	B	—	19回	19回		
		3. 非破壊試験	130M	—	17回	17回	2次系熱交換器検査	
第6 B高压給水加熱器		1. 開放点検	高	130M	—	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	B	—	19回	19回		
		3. 非破壊試験	130M	—	19回	19回		
グラント蒸気復水器		1. 開放点検	高	65M	—	18回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	B	—	23回	23回	2次系熱交換器検査	
		3. 非破壊試験	130M	—	18回	18回	2次系熱交換器検査	
給水、復水系統 〔蒸気タービンに附属する給水ボンブ及び貯水設備並びに給水処理設備〕		1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機含む)	1F	○	23回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後	
		2. 分解点検						
		3. 簡易点検(オイルフィルタ取替)						
Aタービン動主給水ポンブ		1. 機能・性能試験(ポンプ)	高	B	○	22回		
		1. 機能・性能試験(駆動タービン)	B	○	22回	2次系ポンプ機能検査		
		2. 分解点検(ポンプ)	26M	○	22回	2次系ポンプ機能検査		
Bタービン動主給水ポンブ		1. 機能・性能試験(駆動タービン)	2. 分解点検(駆動タービン)	26M	○	22回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検(オイルフィルタ取替)	13M	○	23回	23回	2次系ポンプ機能検査	
		1. 機能・性能試験(駆動タービン)	B	—	23回	23回	2次系ポンプ機能検査	
電動主給水ポンブ・電動機		1. 分解点検(ポンプ)	26M	—	23回	23回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検(電動機)	26M	—	23回	23回		
		3. 簡易点検(オイルフィルタ取替)	13M	○	23回	23回		
電動主給水ポンブ・電動機		1. 分解点検(ポンプ)	130M	—	20回	20回		
		2. 簡易点検(潤滑油入替)	150M	—	22回	22回		
		3. 簡易点検(オイルフィルタ取替)	13M	○	23回	23回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目			保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		点検	試験	点検					
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水 ポンプ及び貯水設備並びに給水處理 設備〕	A タービン動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検 (ストレーナ 点検)	○	52M	高	○	20回		
	B タービン動主給水ブースタポンプ	2. 簡易点検(ストレーナ 点検)	○	13M	○	○	23回		
電動主給水ブースタポンプ		1. 分解点検 (ストレーナ 点検)	—	52M	高	—	23回		
		2. 簡易点検(潤滑油入替 他)	○	13M	○	○	23回		
A 傷水ブースタポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ)	高	130M	—	—	20回		
		1. 分解点検(電動機)	高	13M	○	○	23回		
B 傷水ブースタポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ)	高	39M	—	—	22回		
		1. 分解点検(電動機)	高	10M	—	—	21回		
		2. 簡易点検(潤滑油入替 他)	○	13M	○	○	23回		
C 傷水ブースタポンプ・電動機		1. 分解点検(ポンプ)	高	39M	—	—	23回		
		1. 分解点検(電動機)	高	10M	—	—	22回		
		2. 簡易点検(潤滑油入替 他)	○	13M	○	○	23回		
A 傷水脱塩塔		1. 開放点検	高	130M	—	—	21回	2次系容器検査	
B 傷水脱塩塔		1. 開放点検	高	130M	—	—	22回	2次系容器検査	
C 傷水脱塩塔		1. 開放点検	高	130M	—	—	23回	2次系容器検査	
D 傷水脱塩塔		1. 開放点検	高	130M	○	○	14回	2次系容器検査	
E 傷水脱塩塔		1. 開放点検	高	130M	—	—	15回	2次系容器検査	
復水タック		1. 開放点検	高	130M	—	—	17回		
		2. 簡易点検(通気管金網 清掃)	○	13M	○	○	23回		
蒸気タービン「蒸気タービンに附属する 給水ポンプ及び貯水設備並びに給水處理 設備」その他機器		1. 分解点検他	高	65M~260M	○	○	23回	一部先行実施	
主な配管(主蒸気系統・抽氣系統) 〔蒸気タービンに附属する管等〕		1. 分解点検他	低	13M~260M	○	○	23回	一部先行実施	
		1. 開放点検	高	1F	○	○	23回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験	肉厚管理指 針による		○	○	23回	蒸気タービン開放検査	
2次系配管他(上記以外の主蒸気系統・ 給水系統・抽氣系統・ドレン系統・復水 系統・その他系統)※ ※配管の外観、ポンプ、熱交換器、弁等を 含む(外観点検のみ)	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	○	23回	2次系配管検査	定期事業者検査起動後
		2. 非破壊試験	肉厚管理指 針による		○	○	23回	2次系配管検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考	
							() 内は適用する 設備診断技術)	
蒸気タービン [その他設備]	タービンバイパス弁	15個	高	1F 部含む)	○ 20M~52M 26M	○ 23回 23回	タービンバイパス弁機能検査	
			高	1. 機能・性能試験(駆動 部)	○ 2. 分解点検 3. 簡易点検(グランド バッキン取替)			
タービンバイパス弁駆動部	15個		高	1. 分解点検	○ 2. 簡易点検(特性試験)			
			高	1. 機能・性能試験	○ 2. 分解点検			
蒸気タービン「その他設備」	その他の弁	1式	高・低	B	○ 10.4M~13.0M 13.0M	○ 23回 20回	1次系安全弁検査 2次系安全弁検査 2次系逆止弁検査 2次系安全弁検査	
			高	1. 機能・性能試験	○ 1.3M			
蒸気タービン「その他設備」	その他の中	1式	高	1. 分解点検	○ 1.3M		1次系安全弁検査 2次系安全弁検査	
			高	2. 分解点検(グランド入 管)	○ 1.3M			
			高	3. 簡易点検(特性試験)	○ 1.3M			
蒸気タービン「その他設備」	その他機器	1式	高	1. 分解点検他	○ 1.3M~26.0M	○ 22回 23回	保全の有効性評価結果No.23の反映	
			高	2. 分解点検他	○ 1.2M~26.0M			
補助ボイラー	【補助ボイラー】	1式	低	1. 開放点検	○ 1.2M~26.0M 11.7M~24.0M	○ — — 33回※1	補助ボイラー開放検査 補助ボイラー開放検査 補助ボイラー開放検査	
			低	2. 性能試験	○ B※1	— — — 33回※2	補助ボイラー性能検査 補助ボイラー性能検査 補助ボイラー性能検査	
			低	3. 簡易点検(グランド バッキン取替)	○ 1.2M~1.2M			
【補助ボイラーに属する燃料設備】	燃料運搬設備に係る油の輸送管	1式	低	1. 開放点検	○ 1.2M~1.2M	○ — — 26回※	先行実施 ※1：補助ボイラー開放検査にあわせて実施 ※2：ボイラー回次、今回は36回	
【補助ボイラーに属するばい煙処理設備】	燃料貯蔵設備に係る油タンク	1式	低	1. 開放点検	○ 1.2M	○ — — 30回※	先行実施 ※1：補助ボイラー回次、今回は36回	
・補助ボイラー集じん機			低	2. 簡易点検(内部清掃)	○ 1.2M	○ — — 35回※	先行実施 ※1：ボイラー回次、今回は36回	
補助ボイラー「その他設備」	その他機器	1式	低	1. 分解点検他	○ 1.2M~24.0M	○ — — 35回※	先行実施 ※1：ボイラー回次、今回は36回	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目			保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備・技術)
		1.外観点検	1.外観点検	1.外観点検					
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	浸水防止蓋 云霧防止堰 水密扉	1式 1式 1式	高 高 高	1F 1Y ○	— — 23回			21回施設定期検査時[設置]	
2次系計測制御装置 津波監視カメラ 蒸気漏れ検知システム	1式 2台 1式	1.特性試験 1.機能・性能試験 1.機能・性能試験 2.外観点検	高 高 低 低	1M 1F 1F 1F	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	計測制御系監視機能検査 21回施設定期検査時[設置]	21回施設定期検査時[設置]	
湧水ビット排水系統		1.機能・性能試験(ポンプ、電動機含む)	低	※	○	22回	浸水防護設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に 合せて実施 21回施設定期検査より追加	
湧水サンプルポンプ(吐出ラインを含む)		1.分解点検(ポンプ) 1.分解点検(電動機)	低 CBM	1Y ○	○ ○	23回 22回		(振動診断: 1Y (対象: 電動 機)) 21回施設定期検査時[設置]	
その他発電用原子炉の附属施設「浸水防護施設」その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	低 B	— 130M	— —	23回 23回	浸水防護設備検査	21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査時[設置]	
その他発電用原子炉の附属施設「浸水防護施設」その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	低 B	— 182M	— —	— —	浸水防護設備検査	21回施設定期検査時[設置]	
その他発電用原子炉の附属施設「浸水防護施設」その他機器	1式	1.外観点検 1.分解点検	高・低 高・低	1F~8F —	○ —	23回 —		21回施設定期検査時[設置]	
発電機設備 変圧器設備 しゃ断器	1式 1式 1式	1.分解点検他 1.分解点検他 1.分解点検他	高 高 高	13M~208M 39M~156M 52M~156M	○ ○ ○	23回 22回 22回			
その他発電用原子炉の附属施設「常用電源設備」その他機器	1式	1.分解点検他 1.分解点検他 1.分解点検他	高 高 高	26M~104M 13M~240M 13M~240M	○ ○ ○	22回 23回 23回			
消火水バッファーポンプ・電動機	2台	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	低 10F 6F	※ — —	— — —	— — —	火災防護設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に 合せて実施 21回施設定期検査時[設置]	
煙等流入防止装置	1式	1.分解点検	低	260M	—	—	1次点検	21回施設定期検査時[設置]	
その他発電用原子炉の附属施設「火災防護施設」その他機器	1式	1.分解点検他	高・低	5Y~10Y	○	22回		21回施設定期検査時[設置] 21回施設定期検査時[設置]	

機器又は系統名 [非常用発電装置]	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
		1. 機能・性能試験	IF					
安全注入信号及び格納容器スプレイ信号 発信時にディーゼル発電機に電源を求める 機器	45台	1. 機能・性能試験	高	IF	○	23回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル 発電機の作動検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル 発電機定格容量検査)	
Aディーゼル機関のシリンドラ(ピストン、 ピストン連接棒、シリンドカバー、 クランク軸)	No.1, 8 No.2, 3, 9, 10 No.4, 5, 11, 12 No.6, 13 No.7, 14	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関のシリンドラ(ピストン、 ピストン連接棒、シリンドカバー、 クランク軸)	No.1, 8 No.2, 3, 9, 10 No.4, 5, 11, 12 No.6, 13 No.7, 14	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関の吸気弁		1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の吸気弁		1. 分解点検	高	130M	—	20回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関の排気弁		1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の排気弁		1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関の燃料噴射弁		1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の燃料噴射弁		1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関の燃料噴射弁		1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の燃料噴射弁		1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関の外観点検		1. 外観点検	高	26M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の外観点検		1. 外観点検	高	26M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Aディーゼル機関の外観点検		1. 外観点検	高	26M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
Bディーゼル機関の外観点検		1. 外観点検	高	26M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
ディーゼル発電機付属設備	1式	1. 非破壊試験 2. 機能・性能試験 3. 特性試験	高・低	1F～10F 13M～78M	○	23回	非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査	
		4. 特性試験	高・低	13M	○	23回	非常用予備発電機付属設備検査	

機器又は系統名 [非常用発電装置]	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)	
								機能・性能試験	その他非常用発電装置の機能検査 の付属設備検査
空冷式非常用発電装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F～10F	○	23回	その他非常用発電装置の機能検査	21回施設定期検査時に設置	
		2. 取替他		130M	—	—		保全の有効性評価結果No.31,32,33 の反映	
		3. 登電機ベアリング交換		195M	—	—		保全の有効性評価結果No.34の反映	
可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車	3台	1. 機能・性能試験、 可搬型代替電源設備検査	高	1V	○	23回	可搬型代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
		2. 分解点検	高	1V	—	—		21回施設定期検査時設置 21回施設定期検査より追加	
緊急時対策所用電源車	3台	1. 機能・性能試験、 可搬型代替電源設備検査	高	1V	—	—		21回施設定期検査時設置 停止中	
		2. 分解点検	高	1V	○	23回	可搬型代替電源設備検査	2019年6月に設置	
電源車	3台	1. 機能・性能試験、 可搬型代替電源設備検査	高	1V	○	23回	可搬型代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
		2. 分解点検	高	1V	○	23回		21回施設定期検査時設置 21回施設定期検査より追加	
タンクローリー	3台	1. 機能・性能試験、 可搬型代替電源設備検査	高	1V	○	23回		21回施設定期検査時設置 停止中	
		2. 分解点検	高	13M～208M	○	23回		21回施設定期検査より追加	
非常用電源設備〔非常用発電装置〕その他機器	1式	1. 分解点検他	低	13M～182M	○	23回		21回施設定期検査時設置 停止中	
		2. 分解点検他	高	13M～208M	○	23回		21回施設定期検査より追加	
非常用電源設備〔その他電源装置〕	2組 (60個／組)	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 (作動 機能)	高	1F	○	23回	直流電源系機能検査	21回施設定期検査より追加	
		2. 簡易点検 (充電)		1F	○	23回	直流電源系作動検査	保全の有効性評価結果 No.27,28,29,30の反映	
計器用電源	4台	1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (待生試験)	高	13M	○	23回	イシバータ機能検査	プラント運転中	
		2. 外観点検	高	1F	○	23回		21回施設定期検査時設置	
可搬型バッテリ (加圧器逃がし弁用)	2個	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	1F	○	23回		21回施設定期検査時設置	
		2. 外観点検	高	1F	○	23回		21回施設定期検査時設置	
可搬式整流器	2個	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	6M～180M	○	23回		21回施設定期検査時設置	
		2. 外観点検	高	6M～180M	○	23回		21回施設定期検査時設置	
非常用電源設備〔その他の電源装置〕その他機器	1式	1. 分解点検他	低	13M	○	23回		21回施設定期検査時設置 停止中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	備考 () 内は適用する 設備診断技術)			
		点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)
土木建築設備	原子炉建屋	1式	1.外観点検	IF 高・低	○ 23回
	外周建屋	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
	中間建屋	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
	原子炉補助建屋	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
	燃料取扱建屋	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
	制御建屋	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
	燃料取替用水タンク建屋	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
	ディーゼル発電機建屋	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
	1・2号機原子炉補助建屋	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
	固体廃棄物貯蔵庫	1式	1.外観点検	IV 低	○ 23回
	取水口設備	1式	1.外観点検	IV~1F 高	○ 23回
	敷地内土木構造物	1式	1.外観点検	IV 低	○ 23回
	抑止ぐい	1式	1.外観点検	IV 低	○ 23回
プラント総合	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー 及び非常用予備発電装置を除く)		1.総合性能試験	IF 高	○ 23回
非常用取水設備 「取水設備」	海水取水トンネル	1式	1.外観点検	IV 高	○ 23回
補機駆動用燃料設備 「燃料貯蔵設備」	ガソリン用ドラム缶	68個	1.外観点検	IV/Y 高	○ 23回